

和泉グリーンプロジェクト

平成 24 年度活動報告書

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

実施方針と成果

本年度の和泉グリーンプロジェクト（以下、単にGPといいます。）は、校庭芝生の維持管理活動を継続的かつ円滑に行いつつ、学校関係のみならず、広く地域の人と芝生を通じた結びつきを図ることを目的とした以下のような活動を展開しました。

1. 芝生維持管理活動

平成 24 年 4 月から同年 11 月まで、毎週土曜日にGPの管理運営委員、企画・調査委員及び芝生係を中心とした芝刈りを計 20 回行い、延 400 名（1 回あたり平均約 20 名）の参加者がありました。

また、同年 5 月から 6 月にかけて、①新 1 年生を中心に多くの会員にGPの活動への興味をもってもらうこと、及び②芝生維持管理活動の技術指導を重点的に行うことを目的として、児童・保護者（とりわけ、新 1 年生）を中心に芝刈りを体験してもらう「エンジョイ！GPキャンペーン」を企画・実施しました。

さらに、4 月 28 日の学校公開日には、授業の一環としてGPメンバーが、芝生・芝刈りの知識・技術について 2 年生向けに授業を行いました。芝生養生期間中の 10 月 16 日の環境タイムにおいて、「ペットボトル芝生の作り方」の授業をGPメンバーが担当しました。

2. 和泉グリーンコンサートの実施

平成 24 年 8 月 25 日（日）に第 6 回となる和泉グリーンコンサートを開催しました。今回は、古代眞琴氏（ボーカル、アコースティック・ギター）、禎 一馬氏（ボーカル、三味線）、元田優香氏（コーラス、パーカッション）、下谷淳蔵氏（コーラス、ギター）に出演していただきました。和泉小の芝生の上を沖縄や徳之島のような南の島の風が流れ、出演者の歌や演奏を聴くだけでなく、主演者と一緒に歌って、踊る、楽しいコンサートとなりました。

3. 第 3 回ペットボトル芝生コンテストの実施

第 3 回ペットボトル芝生コンテスト（育成部門及びディスプレイ部門）を実施しました。これは、芝刈りをしない冬場の時期（平成 25 年 1 月～同年 3 月）においても芝生維持管理活動への継続的参加の契機としてもらうこと及び芝生育成技術の向上を図ることを目的として実施しています。

1 月 12 日及び 19 日には昨年とほぼ同様の 60 組（両部門合計）のコンテスト参加申し込みがありました。コンテスト当日（3 月 9 日）にはディスプレイ部門の出品はありませんでしたが、育成部門には出品数は少ないながらも丁寧に育てられた作品が提出されました。

厳正な審査の結果、優れた作品を最優秀賞及び優秀賞に選定し、各作品の出品者に賞状と記念品を授与して表彰しました。

4. 新泉・和泉地区中高一貫教育校設置へ向けた動きの本格化とG Pとしての取組み

小中一貫校の校名も決まり、本格的な工事も2013年6月から開始されます。こうした動きの中で、小中学校一貫校におけるボランティア団体としてのG Pのあり方や役割についても、「緑化等を通して、学校・家庭・地域の交流に関する活動」等（G P会則第3条参照）の趣旨を踏まえながら論点整理を行いつつ、今後具体的な検討をすすめていきたいと思えます。

5. 「芝生係」による関係者間（G P会員相互間及び学校・家庭・地域）の情報交換・連携の推進

「芝生係」に選任されたG P会員の方々に、毎週の芝刈りへのサポート並びにグリーンコンサートの事前準備及び当日のサポート活動を担当していただきました。芝生係が各家庭とG Pとの連絡・連携や、学年を代表する形でG P活動へ関与することにより、「芝生係」制度は関係者間の情報交換・連携に欠かせない役割を果たすようになっていきます。

「芝生係」制度の一層の充実とともに、G Pとの緊密な協力関係が今後さらに強化されていくことが期待されます。

6. 書籍「芝生でいこう」の販売

平成22年3月31日に出版した「芝生でいこう」の販売を実書店、アマゾン及び出版元並びにG Pを通じて継続的に行いました。後述の「東京芝生大会」の効果もあり、当初予定より多い販売実績となりました。このような想定外の需要にも対応すべく、随時、適切な在庫管理を実施しています。

7. 広報活動としてのホームページの充実及び新たな情報ツールの活用の開始

よりわかりやすく、かつタイムリーな情報発信を行うため、ブログに加え、ツイッター、Face BookによってもG P活動予定や日常の活動の様子を発信しました。

8. その他

平成25年2月7日（木）和泉小学校において、東京都・東京都教育委員会の主催する「東京芝生大会」が開催され、東京都教育委員会および校庭芝生化に賛同する区市町村教育委員会の各教育長により「校庭芝生化東京宣言」が採択されました。サッカーや陸上のトップアスリートからの「芝生」にまつわるビデオメッセージの上映や、川淵三郎（日本サッカー協会名誉会長）氏と北澤豪氏（元日本代表）の記念対談も行われました。

このような宣言が和泉小で行われたことは、校庭芝生の先駆校として和泉小が対外的にも高く評価されていることの現れといえるでしょう。

また、3月には、10年以上に亘るG Pの活動が評価され、「みどりの愛護」功労者として国土交通大臣より表彰されることの内示を受けました（平成25年4月25日国土交通省発表、同年5月18日表彰式）。